

平成23年度山梨県ナースセンター事業実施状況

資料2

平成24年3月9日現在

事業名	実施時期	内 容	
ナースバンク事業	1. 看護職員需要状況の把握 1) 医療機関等看護職員需要調査の実施 2) 求人登録	3月～5月 随 時	県内の病院、診療所、老人保健施設等に対して調査票を送付し、看護職員の確保の動向及び求人状況について把握する。 上記調査の結果を基に、医療機関等からの求人状況を受け付け、登録する。 結果：調査対象783施設 回答施設数312施設(39.8%) 採用予定施設127施設 求人総数592(常勤448 非常勤144)
	2. 未就業者の実態及び就業希望条件の把握 1) 未就業看護職員就業希望調査の実施 2) 未就業者の登録	5月～6月 随 時	3月末現在の未就業登録者に対して調査票を送付し、回収された調査票を集計すると共に、台帳の整理をし、就業希望状況を把握する。 未就業有資格者のナースバンクへの登録及び相談を実施する。 結果：調査対象712人 回収数102人(14.3%) 就業希望数39人(保3人 助0人 看27人 准9人)
	3. 離職者の実態及び就業希望状況の把握 1) 離職者調査の実施 2) 離職者就業希望調査の実施	1月～3月(通年) 5月～6月	医療機関の看護管理者および、退職者からの情報提供により退職者を把握する。その情報に基づき台帳修正を行う。 上記の離職者に対して、退職理由、就業希望状況等に関する調査を実施し、実態を把握する 結果：調査対象809施設 回答施設数134施設(16.6%) 離職者数508人 追跡調査可能数133人
	4. 無料職業紹介・就業相談・指導 1) 無料職業紹介 2) ナースセンター内における就業相談 指導の実施	随 時 随 時	就業希望者に対して医療機関等の求人状況を紹介し、無料の職業紹介、相談を行い、就職を斡旋する。 H24年2月末現在…就業者数507人(平成23年2月…525人) 常勤：104人 非常勤：146人 臨時雇用：257人 就業者の就業に関する相談・指導を行い、就業の促進を図る(面接・電話相談) 相談件数…3,386件(求人相談1,645、求職相談1,741)
	5. 情報の提供 1) 「ナースセンターだより」の発行 2) 最新医療情報の提供	通 年 ナースセンターだより(年2回) 必要に応じて	未就業登録者等に対し、ナースセンター事業のPRや情報の提供を行うため、「ナースセンターだより」を発行する。また看護協会ニュースや地区支部だよりなどへ情報を提供する。 発行：4月1日(1,590部) 11月15日(1,512部) 「ナースセンターだより」「看護協会ニュース」等による広報及を通じて、医療及び看護に関する新しい情報の提供を行う。
看護の心普及事業	1. 「看護の心」普及事業の実施 1) 一日看護師体験発表と進路相談会の開催 2) 情報提供・PR	7月23日(土) 必要に応じて	フェスタ看護事業と関連づけて、県下の高校生を対象に実施した「一日看護師」の体験者が学んだことを発表し合う。 看護に対する理解を深め、より魅力ある職業としてイメージアップされるよう、看護職員や看護学生の体験発表を行い、「看護の心」の啓発を図る。 この機会を利用して各看護教育機関のブースを開設し看護師志望者の個別相談に対応し、高校生の看護への進学率を高める働きかけをする。 テレビ、ラジオ、新聞等のマスコミを活用して、各種の広報・PRを行う。 結果：参加者229人 アンケート回答者149人(満足度96.6%)
	2. 高校生に対する看護進学相談 1) 進路説明会の実施 2) 「看護の心」PRビデオの活用	必要に応じて 通年 必要に応じて	県下の高等学校の要請により、看護系大学、養成所への進学希望者を対象に、看護の進路説明会を実施する。 看護を魅力ある職業としてPRするためのビデオを活用する。
新人担当者研修事業	1. 研修会の実施	5月25日(水) 26日(木) 6月21日(火) (3日間)	新卒看護師の離職対策として、新卒看護師指導担当の看護師の質の向上を図り、きめ細やかな指導ができるように、講義、グループワーク、体験学習を入れる。 結果：参加者91人 アンケート回答者82人(満足度97.6%)

	事業名	実施時期	内 容
訪問看護支援事業	1. 訪問看護師養成講習会の開催 (訪問看護研修ステップ1)	6月13日～12月中旬 240時間 (31日間)	訪問看護に携わる看護職に対して、訪問看護事業の実施に必要な基本的知識と技術を修得させ、質の高い訪問看護の提供に資することを目的として実施する。 参加者18人
	2. 訪問看護従事者に対する支援、 情報提供 1) 訪問看護師継続研修会の開催 第1回 6月 第2回 12月 2) 訪問看護に関する情報交換(訪問看護支援委員会との連携)	6月11日(土) 12月11日(日)	訪問看護に従事する訪問看護師等に対して、訪問看護事業の充実と資質の向上を図るため、各地区の要望や情報収集等に基づき、内容を企画、運営する。 訪問看護師の各地区代表者が集まり、意見・情報等の交換を行うことにより、訪問看護師間の横の連携と資質の向上を図る。 結果:参加者85人 アンケート回答者77人(満足度92.2%)
	3. 訪問看護管理者研修	5月19日(木) 5月20日(金) (2日間)	在宅療養者の支援の要となる訪問看護事業所の資質の向上を図るために、訪問看護師を指導・監督する立場の看護管理者の管理能力を高めることを目的として研修を企画、運営する。 結果:参加者23人 アンケート回答者20人(満足度90.0%)
	4. 在宅療養者及び介護者等に対する相談、情報の提供 1) 在宅看護よろず相談事業の実施 2) 介護講座開催に関する相談・指導及び講師の派遣	随 時	在宅療養者及び家族を対象に、在宅看護・介護に関する事柄についての相談・指導を行う。 要望に応じて、介護講座の実施及び講座開催に関する相談・指導、講師の派遣等を行う。 相談件数…615件(面接199、電話415、メール1)
医療施設紹介事業	1. 看護職員就職ガイダンス	1月14日(土)	求人求職のミスマッチを解消し、看護職員の就業を促進するために相互理解、情報交換する機会を提供する。会場に施設ごとのブースを設け面談し、看護職員の就業促進を図る。 開催日時…H24年1月14日(土) 開催場所…山梨県看護研修センター 参加者107人(看護職47人、看護学生60人)
看護職再就業支援研修事業	1. 潜在看護職員復職研修	通 年	病院等への就業希望がある看護職を対象に、病院における最新の看護業務の習得と職復帰を図るために、看護職が希望する日時・病院等で実務研修を受け、再就業を促進する。 再就業研修の受け入れ病院は、県が募集し、ナースセンターが再就業を希望する看護職に情報提供をし、実習病院との調整を図る。 申込み28人 実習終了者25人 就業者25人
心の相談事業	1. 看護職の心の相談事業	毎月1回	看護職のメンタルヘルスに関して、臨床心理士等を招聘し、専門的な立場で、カウンセリングやコンサルテーションを行うことにより、看護職が心の健康を取り戻し生き生き働けるように支援する。 申込み54人 相談人数49人
衛星通信研修	1. 衛星通信研修 (協会単独事業)	11月26日(土)	テーマ 「働き続けられる職場づくり～夜勤勤務を科学する～」 参加者46人
その他	1. 看護職員確保対策連絡協議会	8月18日(木) 2月22日(水)	看護職員の人材確保を効果的に推進する為に、各関係機関から委員構成し、課題に向けて目標をたて、看護職の確保、定着への対策を協議、検討する。 看護職のWLB推進ワークショップ開催支援 開催日…H23年9月28日(水)・29日(木) H24年2月1日(水)